

本抄訳は、マドフ救済基金が第 2 回目の支払いのために、他から追加的回収金を受け取っていないことを、当初の申請後に一度も確認していない申請者に確認すべく、申請者宛てへの依頼レターの記載に基づき、SMB C日興証券株式会社が抄訳を作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。

マドフ救済基金
私書箱 6310
シラキューズ、ニューヨーク 13217-6310

(申請者の氏名・住所)

Claim Number: 申請番号 XXXXXXXX

2018 年 2 月 ● 日

貴方の申請に関する重要なお知らせ

謹啓 申請者様

マドフ救済基金（以下、「MVF」といいます。）は、昨年末に第 1 回目の回収金をお支払いできたことをうれしく思っています。私たちは、現在、迅速に第 2 回目の回収金支払いの準備を行っています。しかし、度重なる私たちからの依頼にも関わらず、貴方が MVF へ当初に申請を申し立てて以降、MVF 以外から回収する可能性があるマドフ関連の損失に関するあらゆる回収金について、貴方からのアップデートを未だ受領できておりません。

このお知らせの目的は、私たちが速やかに追加的回収金のアップデートを受領しないと、貴方が次回の回収金支払いに参加できなくなる恐れがあることをお伝えするためです。そのようなことが起きないことを希望していますが、私たちへお返事いただかないと上記のような対応を取らざるを得ません。

この必要情報をお知らせした理由はとても単純です！貴方は下記のいずれかを行ってください：

当レターの裏面に印刷しているフォームに事項を記載し、スキャンした上で、info@madoffvictimfund.com 宛てに E メールを送ってください。フォームに事項を記載し郵送していただいても結構です；もしくは

MVF のウェブサイト www.madoffvictimfund.com に行き、”Update Collateral Recovery（追加的回収金のアップデート）”項目へスクロールし、必要情報を記載してください。

貴方が、MVF へ当初の申請を申し立てて以降、MVF 以外からマドフ関連の損失に関する回収金を受け取っていないのであれば、貴方がしなければならないのは、“NO ADDITIONAL RECOVERIES（追加的回収金を受け取っていないこと）”を証明することです。

しかし、もし、投資したファンド、クラスアクション訴訟、ファンド破綻による分配、債権売却により、マドフ関連の損失に関する回収金を受け取っているのであれば、私たちに対しアップデートを行わなければなりません。マドフに関係のない証券の売却や償還は含みません。

MVF がこの情報を必要とする理由は単純です。米連邦法は、MVF が実際の損失額を超えて支払いをすることを禁止しているからです。加えて、次回の支払い額は、貴方がマドフ関連の損失で承認された額の一定割合から、これまでの全ての回収金額を差し引いた額になると想定しています。このため、貴方のこれまでの回収金額を把握できなければ、貴方がどの程度の額を受け取るべきなのかを私たちは決めることができません。

様々な被害者に支払われてきた回収金の支払元は 100 を優に超え、MVF は、被害者たちが受け取ってきていると考えられる支払いについて把握することができます。もし貴方の情報開示が、知られた支払いと一致しなかった場合、貴方への支払いは一時保留される可能性があります。私たちに真実の完全な情報を提供することで支払いの中断のリスクを避けていただき、私たちが引き続き貴方をサポートできるようにしていただければと存じます。

どうぞ遅滞なくご返信ください！

本抄訳は、マドフ救済基金が第 2 回目の支払いのために、他から追加的回収金を受け取っていないことを、当初の申請後に一度も確認していない申請者に確認すべく、申請者宛てへの依頼レターの記載に基づき、SMB C日興証券株式会社が抄訳を作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。

申請番号：xxxxxxx についての追加的回収金にかかる表

下記は MVF 以外からマドフ関連の損失にかかわり受領した回収金の全てです。

回収日	回収額	回収の種類	回収金の支払元

もしくは

私は、MVF へ当初申請を申し立てて以降、バーナード・L・マドフ関連証券における投資損失にかかる新たな回収金を受領しておらず、現状でも、完全に正確な状況であることを証明いたします。

上の表に記載するか、もしくは、“No New Recoveries（新たな回収金を受け取っていないこと）”を証明した上で、下記に署名しなければなりません。これにより、米国の下での偽証罪に問われることがあり得るという宣言、および、この中に含まれた情報、行われた供述、記載された回答は、真実であり正しいという信念を構成することになります。

氏名

署名